

# 平成24年度 第2回 府中市男女共同参画推進懇談会 議 事 録

I 日 時 平成24年7月27日（金）午後1時半～3時半

II 場 所 女性センター 第1会議室

III 出 席

(i) 委 員

小西会長、諸橋副会長、鈴木委員、河野委員、並木委員、日並委員、岡田委員、  
阿部委員、大渡委員、藤岡委員、三池委員

(ii) 事務局

岩田市民活動支援課男女共同参画担当副主幹、  
肥後男女共同参画推進係長兼府中市女性センター所長、鬼頭事務職員

IV 欠 席

和田委員

V 傍聴者

なし

VI 会議内容

1 開会

今回、初めて顔合わせをした、鈴木委員と並木委員、日並委員があいさつをした。

2 前回議事録の確認

異議なく承認された。

3 配布資料の確認

- ・資料1 市民企画講座選考採点結果集計表
- ・資料2 第4次府中市男女共同参画計画の見直しの資料（計画見直しシート（案））
- ・資料3 府中市男女共同参画計画推進状況評価報告書 平成22年度・平成23年度及び平成24年度計画 第三者評価についての資料
- ・資料4 第三者評価の担当表
- ・「涼やかサロン」チラシ

4 報告事項

事務局、肥後所長から次のとおり報告した。

府中市男女共同参画推進本部の下部組織である幹事会下にある専門部会が始まり、本年度の重点取組事項であるDV被害者支援の庁内連携の強化の内容として、①職員向けのマ

ニュアルの職員への周知 ②ワンストップサービスの具体化、について検討していくことが決定したことの報告があった。

また、8月に女性センターにて行われる「涼やかサロン」について、説明があった。

## 5 協議事項

### (1) 市民企画講座の採点

各委員の採点結果は下記表のとおり

※ 団体A・B・Cに所属する委員がある場合は、その団体の採点は不参加。

応募番号	講座事業名	団体名	採点者												点数合計	平均点	点数順位	予定経費
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫				
1	「福祉の府中」をつくった女性たち ～中条 イマ・関 節子・伊藤 かつ子	団体A	17	19	15	16	14	17	16	×	16	18	19	17	184	16.7	1	25,200円
2	コミュニケーションスキル・面接力UP講座 ～自分に自信をつける発声方法と人に好かれる話し方	団体B	17	18	13	20	16	14	14	15	16	20	18	18	199	16.5	2	31,860円
3	Word2010で名刺づくり	団体C	13	13	9	20	12	9	10	×	12	20	14	14	146	13.2	3	34,450円
<b>合計</b>																	<b>91,510円</b>	

3つの講座事業の予定経費の合計額は、本年度の予算内（120,000円）に収まっている。そのため、3つの講座が市民企画講座としてふさわしいかどうかを検討し、3つの講座事業とも市民企画講座として、市長に推薦することを決定した。

### (2) 第4次府中市男女共同参画計画の見直しについて

ア 前回グループ討議の結果についての意見交換

イ 見直し事項の抽出

ウ 新たに計画に加える事項の検討

エ その他

前回の推進懇談会にて、各グループに分かれ事業項目ごとに「継続」「拡充」「達成」の評価をおこない資料2のとおりまとめた。その内容及び見直し事項、新しい計画に加える事項等について各グループ及び委員が意見を発表した。

#### Eグループ

・小西会長

Eグループは「Ⅲ男女共同参画社会づくり」を担当しているが、この課題の中に「(1) 男女平等の意識改革」とあるが、「意識改革」の時代はもう終了してはいないか。今後は、「意識改革」から「推進」、「促進」に変更するよう提案したい。

施策の項目に「①学校教育における男女平等の推進」「②地域・家庭における男女平等の推進」とあるが、「I あらゆる分野における男女共同参画」の施策の項目「③地域活動における男女共同参画の推進」、「④安全・防災対策の推進」とも関連して見直す必要があると考える。

第4期推進懇談会が、阪神・淡路大震災や中越沖地震の教訓を受けて、「新たな取組を必要とする防災分野における男女共同参画の推進について」の報告書を提出したが、昨年の東日本大震災では、避難所の運営などに男女平等の視点が必要なことが改めて認識された。また、震災の災害地ではボランティアやNPOが活躍しているが、この分野で日本は遅れていると言われており、ボランティアやNPOへの支援について、計画に入れていく必要があるのではないだろうか。

・大渡委員

防災分野の男女共同参画については、活発な地域とそうでないところがある。住吉町地域はかなり親密に自主的に参加している。

・小西会長

新興のマンションが多い地域については、地域とのつながりが希薄で、地域における防災訓練も活発ではない。行政はもっと啓発すべきではないか。課題「(2)普及・啓発活動の推進」については、男女共同参画のまちづくりのための情報を提供、発信していくことで、普及・啓発を行ってほしい。

・岩田補佐

防災意識の啓発事業については、各地域とも増えており、自治会連合会が中心となって、自治会などで防犯部会を作るなど、今後活発に行っていく予定である。

## Aグループ

・阿部委員

事業項目番号012「在宅学習の支援」について、ビデオを貸し出しているとのことであるが、インターネットの時代にそぐわないのではないか。そのために達成にした。「拡充」で考えたところは国の「第3次男女共同参画基本計画（以後「国の計画」）」の第1部 3「今後取り組むべき喫緊の課題」、都の「男女平等参画のための東京都行動計画」（以後「都の計画」）に入っているものを中心に選んだ。それ以外では007「市民との協働事業の推進」、008「自主グループとの共催講座の開催」、009「女性関係会議の参加促進」を「拡充」とした。009については、年に1度の全国女性会議にわずか1名しか参加していないので、もう少し、参加者を増やしてほしいと考える。また、防災分野で018「地域安全リーダーの育成」、019「男女双方の視点を取り入れた防災対策の推進」は、今後も重要な課題と考える。

また、課題「(4) 国際社会への貢献」 053「外国人の相談窓口の充実」では窓口が少なく、054「在住外国人女性の支援」も拡大してほしいので、「拡充」とした。

## Bグループ

### ・鈴木委員

前回行った評価の内容をもう一度、並木委員と見直した。その結果、ワーク・ライフ・バランス等の施策、女性の就職支援、起業等、今、世の中に求められているもので、主管課が能動的、主体的に取り組める事業は、今後「拡充」してほしい。

逆に、事業項目番号027「労働相談の充実」のような、他力依存的、あるいは中間に入ってつなぎ的な役割を果たしている事業については、今後も「継続」とした。

また、024「起業のための講座の実施」は市民活動支援課で行われているが、経済産業課でも行ってもよいのではないかと考える。

### ・小西会長

028②「ワーク・ライフ・バランス」については、国、都でも重視しているので、施策の柱立てにしてもよいのではないかと考える。そこから次の「子育て支援」につながっていくのではないかと考える。

## Cグループ

### ・河野委員

子育て支援はまだニーズが高い。もっと深まった支援が必要だと考えているので、ほとんどを「拡充」とした。

### ・小西会長

「待機児童」についてはしっかりやっつけていかねばならない問題である。また、施策の中にある「生涯を通じた女性の健康支援」も重要な問題である。また074「リプロダクティブ・ヘルス／ライツの啓発」は女性センターでも講座を開いているが、この言葉の意味は理解が進んでいない。

### ・河野委員

リプロダクティブ・ヘルス／ライツは、産むことについて女性の意思で決めることができる権利のことと考える。

### ・小西会長

都の計画には、4.(2)「生涯を通じた男女の健康支援」としている。健康支援については女性のみでなく男性をも含めることが必要である。その他、「いじめ」や「性暴力」、「女性に対する暴力」についても男女共通の視点が必要と考える。

・河野委員

今、中学、高校の家庭科教育は男女一緒になっている。その中で、家庭のこと、男女平等のこと、リプロダクティブ・ヘルス/ライツについても男女ともに学んでいる。事業項目番号074「リプロダクティブ・ヘルス/ライツの啓発」については「拡充」に変更する。

Dグループ

・諸橋副会長

最近、「いじめ」、「教員のセクハラ」の問題が俄かに浮上している。注意が必要かと思う。事業項目番号061 ①・②「児童の権利に関する条約」についての啓発」、062「関係機関との連携の強化」については「拡充」に変更する。また、065 ③「教育・労働・地域等におけるセクシャル・ハラスメント防止の推進（小中学校教員への研修）」、066 ①「職員・教職員に対する研修会の実施（セクハラ防止研修）」、066 ②「職員・教職員に対する研修会の実施（人権尊重教育研修および含む事故防止研修）」についても「拡充」に変更する。

また、IT時代、スマートフォンの普及を受けていることによりメディアリテラシーの分野で「拡充」、また相談窓口の充実についても、「拡充」にしたい。特に放射能の問題で、子どもたちの健康について監視が必要なので、Cグループの子育て事業で挙げているが、相談事業でも充実させてほしい。

総括

・小西会長

計画の見直しについて検討してきたが、その他の意見があるか。今、この場で意見が出なければ、継続して次回に持ち越す。

なお、第4次計画（府中プラン）の策定以降に改訂された国、都、他の県・区市町村等の計画についての資料を参照にして、新たに加えなければならない課題や事業について、次回に検討してもらいたい。

・諸橋副会長

防災については、事業項目番号018「地域安全リーダーの育成」、019「男女双方の視点を取り入れた防災対策の推進」が入っているが、防災についての事業は、もっと大きく取り入れた方がよい。

・小西会長

国の計画では第14分野「地域、防災、環境その他の分野における男女共同参画の

推進」と柱立てしている。また都の計画では、1.(2)②「地域・防災分野への参画促進 ア 地域・防災分野における男女平等参画の促進」としている。見直しの時にはこれらの視点を入れる必要があると考える。

今回「拡充」に変更した事業項目が出ているが、「継続」と判断しても、今後しっかりやる必要がある事業項目については、提言するようにしたい。

### (3) 第三者評価の検討

事務局より、配布資料3 の説明があり、22年度事業について行った推進懇談会の第三者評価の内容と、23年度の各課の評価、22年度の推進懇談会の提言に対しての各課の対応について、見開きにしてまとめたもので、第三者評価の今年度記載部分は空欄になっている。委員の方々には、担当している事業項目について、空欄となっている、23年度の項目評価及び総合評価と23年度の第三者評価の欄を埋めていただきたい、との説明があった。

次回の推進懇談会の協議資料とするため、9月7日までに、事務局に提出することが了承された。なお、担当については、昨年度と同じ事業項目を担当することが了承された。

### イ 次回の会議日程について

日 時：平成24年9月28日（金） 午後1時半～3時半

場 所：スクエア21・府中市女性センター 第1会議室

## 6 閉会